

平成 29 年 11 月 21 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官	後藤 敬一郎
室長補佐	成井 裕子
(担当)	成年者縦断統計企画係
(代表電話)	03(5253)1111 (内線 7592)
(直通電話)	03(3595)2322

第 5 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 この 4 年間の出生の状況	3
（1）夫婦における出生の状況	3
（2）夫婦の子どもをもつ意欲の変化	4
（3）妻の職場の育児休業制度等と出生	5
2 独身時の希望子ども数と結婚後の子ども数	6
3 独身者の子どもをもつ意欲と子ども観	7
（1）独身者の子どもをもつ意欲の変化	7
（2）独身者の子ども観	8
参考	9
用語の定義	13

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス（http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/）

調 査 の 概 要

第 5 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）

1 調査の目的

21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 24 年から実施しており、今回で 5 回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成 24 年 10 月末時点で 20～29 歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第 1 回調査実施時まで把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第 3 回又は第 4 回調査において協力を得られた者を客体とした。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 5 回調査 平成 28 年 11 月 2 日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子どもをもつ意欲、子ども観 等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子どもをもつ意欲、子ども観 等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第 5 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	8,005	5,431	4,122
(再掲) 配偶者票 ^(注)	379	262	196
女性票	9,252	6,823	5,192
(再掲) 配偶者票 ^(注)	147	113	81
計	17,257	12,254	9,314

(注) 第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

(参考) 第1回からの調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%
第5回	24～33歳	16,731	11,879	71.0%

※ 第1回は、調査員調査により実施

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
マイナスの場合	△

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

結果の概要

1 この4年間の出生の状況

(1) 夫婦における出生の状況

この4年間に、第1回からの夫婦の56.7%、第2回からの夫婦の72.0%、第3回からの夫婦の56.0%、第4回からの夫婦の29.8%に子どもが生まれている。

この1年間に、第1回からの夫婦の10.6%、第2回からの夫婦の27.5%、第3回からの夫婦の26.9%、第4回からの夫婦の29.8%に子どもが生まれ、この4年間では、それぞれ56.7%、72.0%、56.0%、29.8%の夫婦に1人以上の子どもが生まれている（表1、図1）。

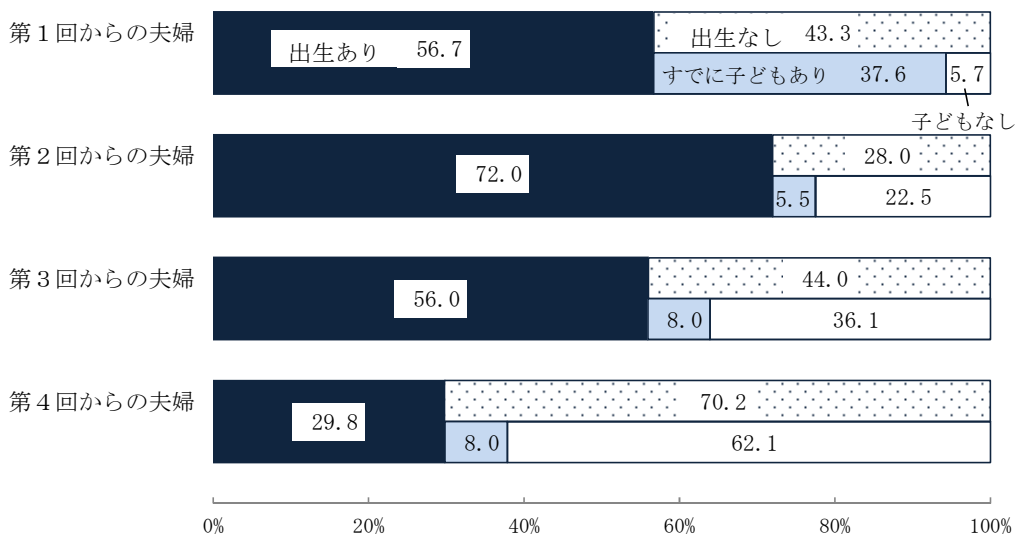
表1 夫婦におけるこの4年間の出生の状況

	総数	この4年間に出生あり												この4年間に出生なし			
		総数	第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			第4回から第5回間に出生			総数	すでに子どもあり	子どもなし
			総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降			
第1回からの夫婦	100.0	56.7	20.2	6.3	13.9	19.6	5.1	14.5	16.7	2.4	14.3	10.6	0.6	10.0	43.3	37.6	5.7
第2回からの夫婦	100.0	72.0	-	-	-	31.1	30.9	0.2	27.3	23.2	4.1	27.5	11.7	15.8	28.0	5.5	22.5
第3回からの夫婦	100.0	56.0	-	-	-	-	-	-	30.7	29.3	1.4	26.9	23.4	3.5	44.0	8.0	36.1
第4回からの夫婦	100.0	29.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.8	28.5	1.3	70.2	8.0	62.1

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時点ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

図1 夫婦におけるこの4年間の出生の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時点ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

(2) 夫婦の子どもをもつ意欲の変化

この4年間に第1子が出生した夫婦では、夫79.2%、妻72.9%が、第5回調査で第2子以降の子どもを「もちたい」と考えている。

第1回からの夫婦について、この4年間の出生の有無、出生順位、子ども数別に第1回と第5回の夫、妻の子どもをもつ意欲をみると、この4年間に出生ありの夫婦で、子どもを「もちたい」と考えている者の割合は、第1子出生の場合、夫は、第1回91.7%、第5回79.2%、妻は、第1回91.7%、第5回72.9%となっている。第2子出生の場合、夫は、第1回87.2%、第5回27.0%、妻は、第1回90.5%、第5回27.0%と、第1子出生の場合より大きく減少している。

また、この4年間に出生なしの夫婦で子ども1人の夫婦の場合、「もちたい」と考えている者の割合は、夫は66.0%から64.0%へ、妻は72.0%から56.0%へ減少しており、「子どもは欲しくない」と考えている者の割合は、夫は18.0%から32.0%へ、妻は22.0%から40.0%へ増加している。(表2)

表2 第1回からの夫婦におけるこの4年間の出生の状況別にみた
第1回及び第5回の子どもをもつ意欲

(単位：%)

	第1回の子どもをもつ意欲					第5回の子どもをもつ意欲							
	総数	もちたい	もてなくても かまわない	子どもは 欲しくない	不詳	総数	もちたい	もてなくても かまわない	子どもは 欲しくない	不詳			
この4年間に出生あり	出生順位	(100.0)											
	第1子出生	夫	(16.6)	100.0	91.7	2.1	2.1	4.2	100.0	79.2	2.1	12.5	6.3
		妻		100.0	91.7	6.3	-	2.1	100.0	72.9	8.3	16.7	2.1
	第2子出生	夫	(51.2)	100.0	87.2	1.4	7.4	4.1	100.0	27.0	4.7	66.9	1.4
		妻		100.0	90.5	2.0	5.4	2.0	100.0	27.0	5.4	66.2	1.4
	第3子以降出生	夫	(32.2)	100.0	67.7	7.5	20.4	4.3	100.0	8.6	5.4	82.8	3.2
妻			100.0	73.1	3.2	22.6	1.1	100.0	7.5	5.4	86.0	1.1	
この4年間に出生なし	子ども数	(100.0)											
	子どもなし	夫	(13.1)	100.0	86.2	3.4	10.3	-	100.0	82.8	3.4	10.3	3.4
		妻		100.0	86.2	3.4	10.3	-	100.0	72.4	3.4	20.7	3.4
	1人	夫	(22.6)	100.0	66.0	2.0	18.0	14.0	100.0	64.0	-	32.0	4.0
		妻		100.0	72.0	4.0	22.0	2.0	100.0	56.0	2.0	40.0	2.0
	2人以上	夫	(64.3)	100.0	27.5	4.9	64.1	3.5	100.0	19.7	4.2	76.1	-
妻			100.0	29.6	6.3	62.0	2.1	100.0	17.6	4.2	76.1	2.1	

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

3)出生順位は、4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

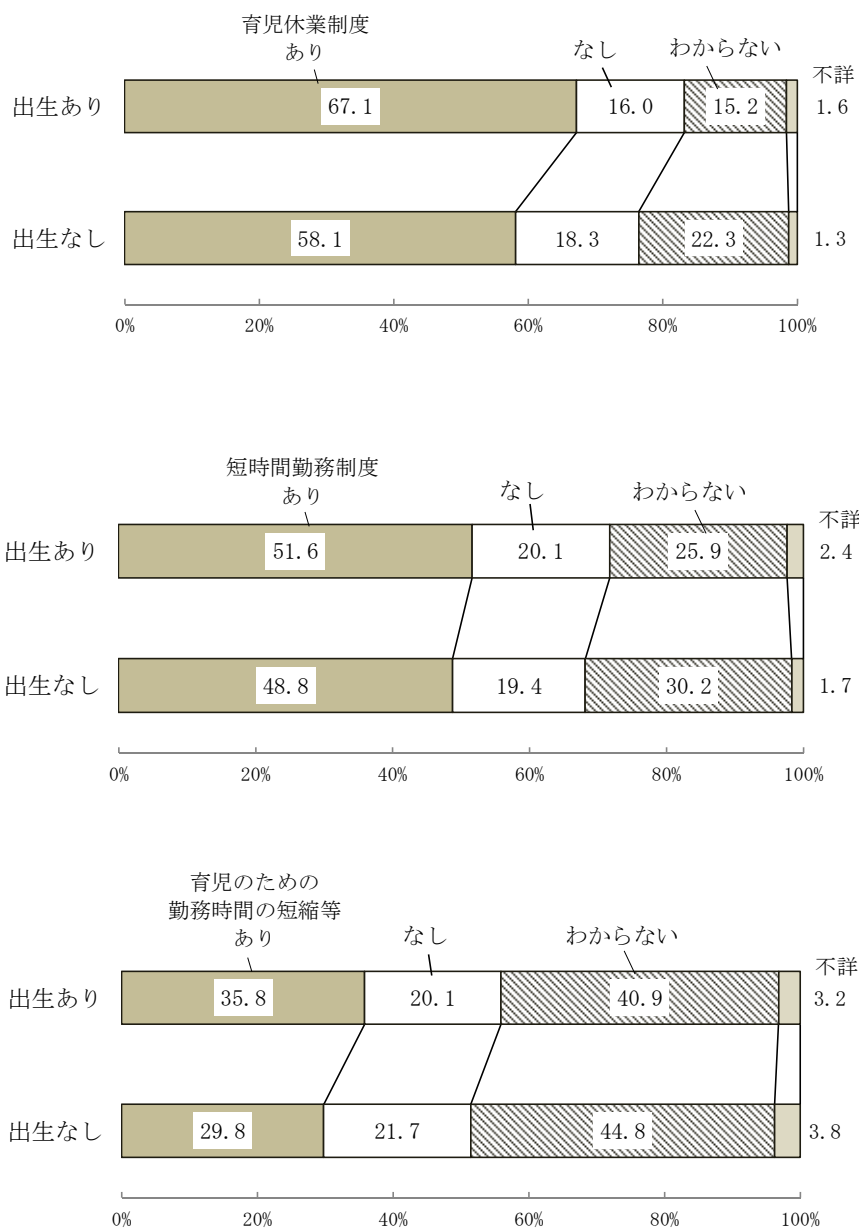
4) ()内は、「出生順位」「子ども数」の、それぞれ総数に対する割合である。

(3) 妻の職場の育児休業制度等と出生

妻の職場の「育児休業制度あり」の割合は、「出生あり」は67.1%、「出生なし」は58.1%となっている。

この4年間の出生の有無別に、妻の職場の育児休業制度等の状況をみると、「育児休業制度あり」の割合は、「出生あり」は67.1%、「出生なし」は58.1%となっている。また、「短時間勤務制度あり」の割合は、「出生あり」「出生なし」いずれも約5割であり、育児休業制度、短時間勤務制度以外の「育児のための勤務時間の短縮等あり」の割合は、「出生あり」は35.8%、「出生なし」は29.8%となっている。(図2)

図2 この4年間の出生の有無別にみた妻の職場の育児休業制度等の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)育児休業制度等の「あり」「なし」とは、利用可能な育児休業制度等があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

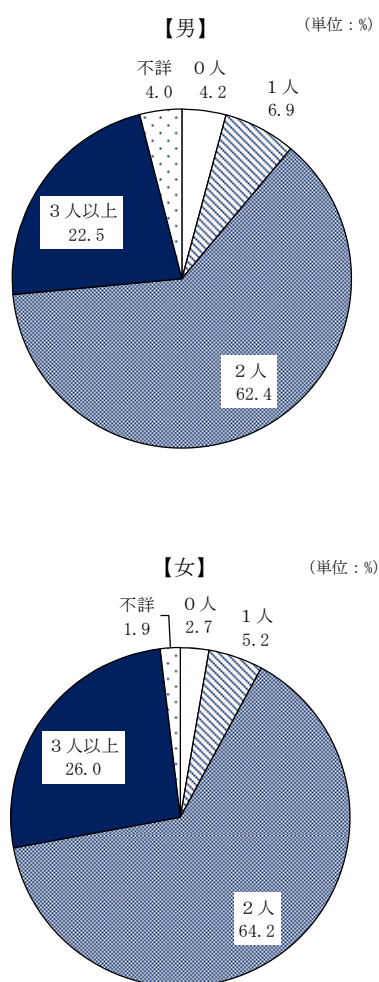
2 独身時の希望子ども数と結婚後の子ども数

独身時の希望子ども数が「2人」「3人以上」だった者は、男女ともに「子どもあり」はそれぞれ5割近くとなっている。

第1回調査時に独身で第5回調査時に既婚だった者の、第1回の希望子ども数を性別にみると、男女ともに「2人」の割合は6割を超え、「3人以上」と合わせると8割を超えている（図3）。

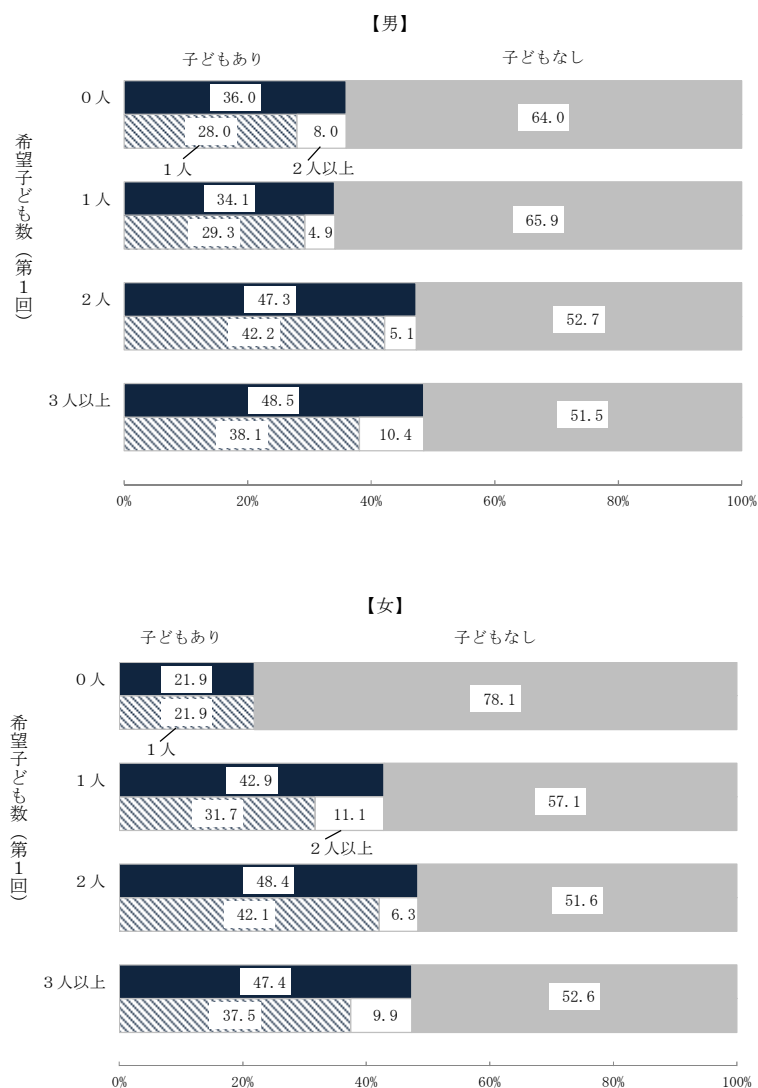
また、第1回の希望子ども数別に第5回の子どもの数をみると、「2人」「3人以上」だった者は、男女ともに「子どもあり」はそれぞれ5割近くとなっている（図4）。

図3 第1回調査時に独身で第5回調査時に既婚だった者の性別にみた第1回の希望子ども数



注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

図4 第1回調査時に独身で第5回調査時に既婚だった者の性、第1回の希望子ども数別にみた第5回の子どもの数



注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

3 独身者の子どもをもつ意欲と子ども観

(1) 独身者の子どもをもつ意欲の変化

独身者の第1回と第5回の子どもをもつ意欲は、男女ともに子どもを「もちたい」が減少し、「子どもは欲しくない」が増加している。

第1回調査時から第5回調査時まで独身だった者の、第1回と第5回の子どもをもつ意欲を性別にみると、子どもを「もちたい」と考えている者の割合は、第1回は男性が68.3%、女性が77.9%、第5回は男性が62.5%、女性が71.0%と減少している。また、「子どもは欲しくない」と考えている者の割合は、第1回は男性が16.9%、女性が14.0%、第5回は男性が27.1%、女性が20.7%と増加している。(表3)

表3 第1回調査時から第5回調査時まで独身だった者の性、年齢階級別にみた第1回と第5回の子どもをもつ意欲

(単位：%)

性、年齢階級、 第1回の子どもをもつ意欲	総数	第5回の子どもをもつ意欲			
		もちたい	もてなくてもかまわない	子どもは欲しくない	不詳
男	100.0	62.5	6.6	27.1	3.7
もちたい	68.3	53.5	3.7	9.2	2.0
もてなくてもかまわない	9.0	3.7	1.3	3.7	0.2
子どもは欲しくない	16.9	2.7	1.1	12.5	0.6
不詳	5.7	2.6	0.5	1.8	0.9
20～24歳	100.0	65.6	6.3	24.3	3.8
もちたい	71.1	56.7	3.6	8.7	2.1
もてなくてもかまわない	8.6	3.5	1.3	3.7	0.1
子どもは欲しくない	14.9	2.4	1.1	10.7	0.7
不詳	5.4	3.0	0.4	1.2	0.8
25～29歳	100.0	58.9	6.9	30.5	3.7
もちたい	65.1	49.7	3.8	9.7	1.9
もてなくてもかまわない	9.4	4.0	1.4	3.7	0.4
子どもは欲しくない	19.3	3.1	1.1	14.6	0.5
不詳	6.1	2.1	0.6	2.5	0.9
女	100.0	71.0	5.6	20.7	2.6
もちたい	77.9	65.4	3.0	7.9	1.6
もてなくてもかまわない	6.0	2.0	1.4	2.5	0.2
子どもは欲しくない	14.0	2.7	0.9	9.7	0.6
不詳	2.1	0.9	0.3	0.7	0.2
20～24歳	100.0	75.5	5.4	17.3	1.8
もちたい	81.2	69.3	3.1	7.5	1.3
もてなくてもかまわない	5.6	2.4	1.0	2.1	0.2
子どもは欲しくない	11.3	3.0	1.0	7.2	0.2
不詳	1.8	0.9	0.3	0.6	0.1
25～29歳	100.0	65.4	6.0	25.0	3.6
もちたい	73.8	60.6	2.9	8.4	1.9
もてなくてもかまわない	6.5	1.5	1.8	3.0	0.2
子どもは欲しくない	17.3	2.5	0.8	12.9	1.1
不詳	2.3	0.9	0.4	0.7	0.4

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)年齢は第1回調査時の年齢である。

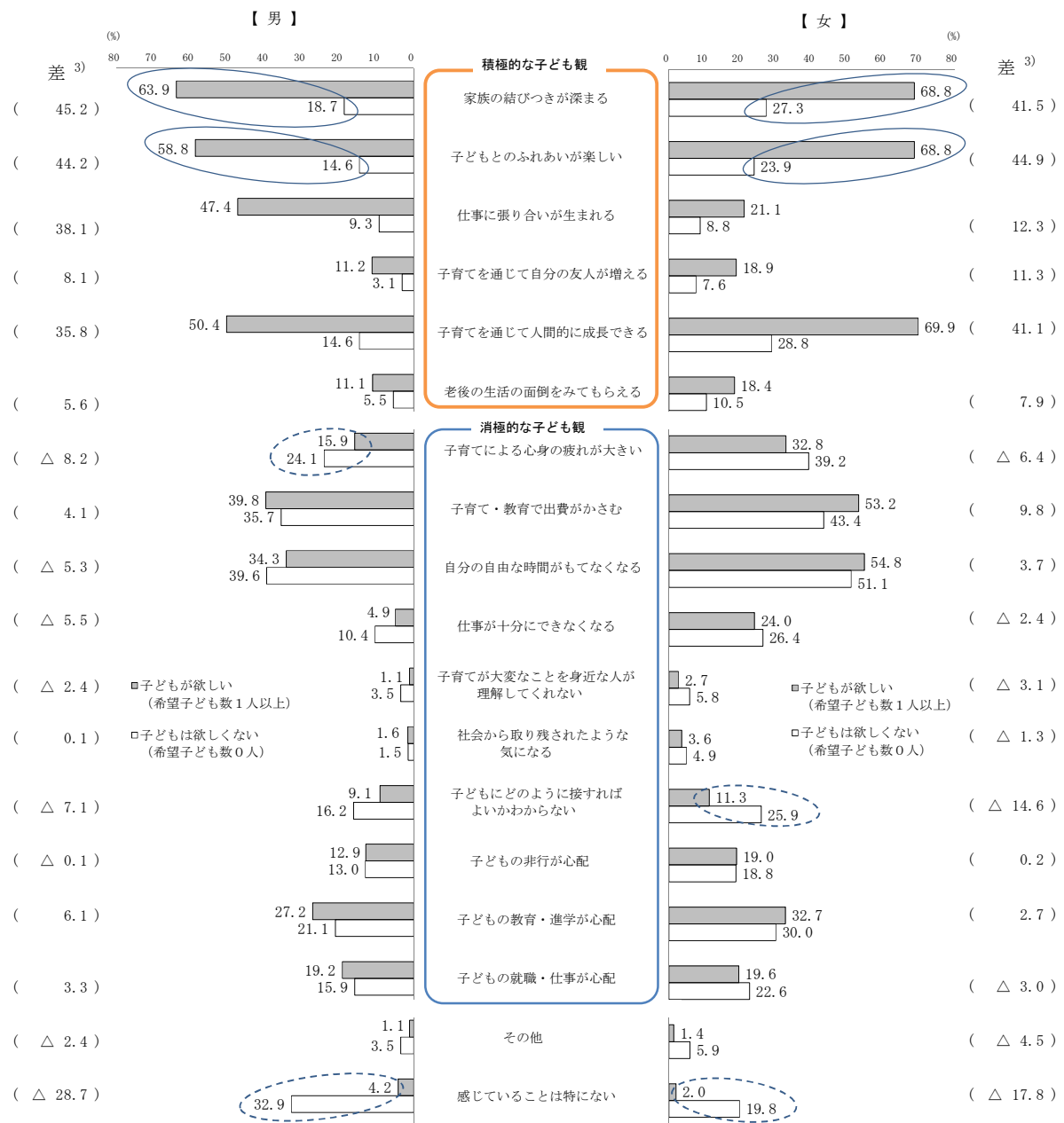
3)「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

(2) 独身者の子ども観

「子どもが欲しい」とする者と「子どもは欲しくない」とする者別に第5回のそれぞれの子ども観を比較すると、「子どもが欲しい」方が高く、その差が大きいのは、男女ともに「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」となっている。

第1回調査時から第5回調査時まで独身だった者について、「子どもが欲しい」とする者と「子どもは欲しくない」とする者別に第5回のそれぞれの子ども観を比較すると、「子どもが欲しい」方が高く、その差が大きいのは、男女ともに「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」となっている。一方、「子どもは欲しくない」方が高く、その差が最も大きいのは、男女ともに「感じていることは特にない」であり、次いで男性では「子育てによる心身の疲れが大きい」、女性では「子どもにどのように接すればよいかわからない」となっている。(図5)

図5 第1回調査時から第5回調査時まで独身だった者の性、第5回の希望子ども数の有無別にみた子ども観（複数回答）



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「子どもが欲しい」は「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に1人以上と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「0人」と回答した者を集計している。

3) () 内は「子どもが欲しい」から「子どもは欲しくない」を引いた割合の差。

参 考

1 集計対象の条件

第1回調査から第5回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第5回調査まで継続して回答している者	/
以下の (a) または (b) に該当する夫婦 (a) 第1回調査から第5回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第4回調査までの間に結婚し、第5回調査まで回答している夫婦	表 1 図 1
(a) または (b) で、(b) の場合は「女性票」の対象者	/
出産前に妻が会社等に勤めていて、この4年間に子どもが生まれた夫婦 第4回調査時に妻が会社等に勤めていて、この4年間に子どもが生まれなかった夫婦	図 2
第1回調査から第5回調査まで双方が回答している夫婦	表 2
第1回調査時の独身者	/
第5回調査時の既婚者	図 3 図 4
第5回調査時の独身者	表 3 図 5

2 集計客体数一覧

表1、図1 夫婦におけるこの4年間の出生の状況

(単位：人)

	総数	この4年間に出生あり												この4年間に出生なし			
		総数	第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			第4回から第5回間に出生			総数	すでに子どもあり	子どもなし
			総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降			
第1回からの夫婦	510	289	103	32	71	100	26	74	85	12	73	54	3	51	221	192	29
第2回からの夫婦	418	301	-	-	-	130	129	1	114	97	17	115	49	66	117	23	94
第3回からの夫婦	427	239	-	-	-	-	-	-	131	125	6	115	100	15	188	34	154
第4回からの夫婦	449	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134	128	6	315	36	279

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時点ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

表2 第1回からの夫婦におけるこの4年間の出生の状況別にみた第1回及び第5回の子どもをもつ意欲

(単位：人)

	出生順位	性別	第1回の子どもをもつ意欲					第5回の子どもをもつ意欲				
			総数	もちたい	もてなくてもかまわない	子どもは欲しくない	不詳	総数	もちたい	もてなくてもかまわない	子どもは欲しくない	不詳
この4年間に出生あり	第1子出生	夫	48	44	1	1	2	48	38	1	6	3
		妻	48	44	3	-	1	48	35	4	8	1
	第2子出生	夫	148	129	2	11	6	148	40	7	99	2
		妻	148	134	3	8	3	148	40	8	98	2
	第3子以降出生	夫	93	63	7	19	4	93	8	5	77	3
		妻	93	68	3	21	1	93	7	5	80	1
この4年間に出生なし	子ども数	夫	29	25	1	3	-	29	24	1	3	1
		妻	29	25	1	3	-	29	21	1	6	1
	1人	夫	50	33	1	9	7	50	32	-	16	2
		妻	50	36	2	11	1	50	28	1	20	1
	2人以上	夫	142	39	7	91	5	142	28	6	108	-
		妻	142	42	9	88	3	142	25	6	108	3

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

3)出生順位は、4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図2 この4年間の出生の有無別にみた妻の職場の育児休業制度等の状況

(単位：人)

この4年間の出生の有無	総数	制度等あり	制度等なし	わからない	不詳
育児休業制度					
総数	854	530	148	164	12
出生あり	374	251	60	57	6
出生なし	480	279	88	107	6
短時間勤務制度					
総数	854	427	168	242	17
出生あり	374	193	75	97	9
出生なし	480	234	93	145	8
育児のための勤務時間の短縮等					
総数	854	277	179	368	30
出生あり	374	134	75	153	12
出生なし	480	143	104	215	18

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)育児休業制度等の「あり」「なし」とは、利用可能な育児休業制度等があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

図3、図4 第1回調査時に独身で第5回調査時に既婚だった者の性、
第1回の希望子ども数別にみた第5回の子どもの数

(単位：人)

性、 第1回の希望 子ども数	総数	第5回の子どもの数			
		子ども なし	子ども あり		
				1人	2人以上
男	596	325	271	233	38
0人	25	16	9	7	2
1人	41	27	14	12	2
2人	372	196	176	157	19
3人以上	134	69	65	51	14
不詳	24	17	7	6	1
女	1202	637	565	478	87
0人	32	25	7	7	-
1人	63	36	27	20	7
2人	772	398	374	325	49
3人以上	312	164	148	117	31
不詳	23	14	9	9	-

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

表3 第1回調査時から第5回調査まで独身だった者の性、年齢階級別にみた第1回と第5回の
子どもをもつ意欲

(単位：人)

性、年齢階級、 第1回の子どものもつ意欲	総数	第5回の子どものもつ意欲			
		もちたい	もてなくても かまわない	子どもは 欲しくない	不詳
男	2859	1788	189	776	106
もちたい	1954	1530	105	262	57
もてなくてもかまわない	257	107	38	105	7
子どもは欲しくない	484	78	32	357	17
不詳	164	73	14	52	25
20～24歳	1546	1014	98	376	58
もちたい	1099	877	55	135	32
もてなくてもかまわない	133	54	20	57	2
子どもは欲しくない	230	37	17	165	11
不詳	84	46	6	19	13
25～29歳	1313	774	91	400	48
もちたい	855	653	50	127	25
もてなくてもかまわない	124	53	18	48	5
子どもは欲しくない	254	41	15	192	6
不詳	80	27	8	33	12
女	3164	2247	178	656	83
もちたい	2465	2070	96	249	50
もてなくてもかまわない	191	63	43	78	7
子どもは欲しくない	443	87	28	308	20
不詳	65	27	11	21	6
20～24歳	1755	1325	94	304	32
もちたい	1425	1216	55	131	23
もてなくてもかまわない	99	42	17	36	4
子どもは欲しくない	199	52	17	126	4
不詳	32	15	5	11	1
25～29歳	1409	922	84	352	51
もちたい	1040	854	41	118	27
もてなくてもかまわない	92	21	26	42	3
子どもは欲しくない	244	35	11	182	16
不詳	33	12	6	10	5

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)年齢は第1回調査時の年齢である。

3)「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

図5 第1回調査時から第5回調査時まで独身だった者の性、第5回の希望子ども数の有無別にみた子ども観（複数回答）

(単位：人)

	男			女		
	計	子どもが欲しい (希望子ども数 1人以上)	子どもは 欲しくない (希望子ども数 0人)	計	子どもが欲しい (希望子ども数 1人以上)	子どもは 欲しくない (希望子ども数 0人)
総数	2 701	1 925	776	3 064	2 408	656
家族の結びつきが深まる	1 376	1 231	145	1 836	1 657	179
子どもとのふれあいが楽しい	1 245	1 132	113	1 814	1 657	157
仕事に張り合いが生まれる	985	913	72	565	507	58
子育てを通じて自分の友人が増える	239	215	24	505	455	50
子育てを通じて人間的に成長できる	1 084	971	113	1 872	1 683	189
老後の生活の面倒をみてもらえる	256	213	43	513	444	69
子育てによる心身の疲れが大きい	493	306	187	1 046	789	257
子育て・教育で出費がかさむ	1 043	766	277	1 566	1 281	285
自分の自由な時間がもてなくなる	967	660	307	1 655	1 320	335
仕事が十分にできなくなる	176	95	81	752	579	173
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	48	21	27	104	66	38
社会から取り残されたような気になる	42	30	12	118	86	32
子どもにどのように接すればよいかわからない	301	175	126	442	272	170
子どもの非行が心配	350	249	101	580	457	123
子どもの教育・進学が心配	688	524	164	985	788	197
子どもの就職・仕事が心配	492	369	123	621	473	148
その他	48	21	27	72	33	39
感じていることは特にない	335	80	255	179	49	130
不詳	92	66	26	57	45	12

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「子どもが欲しい」は「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に1人以上と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「0人」と回答した者を集計している。

用語の定義

- 1 「夫婦」又は「既婚」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。
- 2 「独身」又は「独身者」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 3 「子どもをもつ意欲」とは、「希望子ども数」が1人以上の場合に「今後、子どもをもつことについて、どのように思っていますか。」と質問したものである。
- 4 「育児休業制度等の状況」とは、勤め先の会社において、自分の就業形態で利用可能な育児休業制度等があるかどうかを質問したものである。
- 5 「育児休業制度」、「短時間勤務制度」、「育児のための勤務時間の短縮等」は次の制度をいう。
育児休業制度 …… 子どもの養育のために休業することができる制度
短時間勤務制度 …… 通常の所定労働時間を短縮する制度
育児のための勤務時間の短縮等 …… 「育児休業制度」「短時間勤務制度」以外の育児のための勤務時間の短縮（フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働（残業）の免除）等
- 6 「希望子ども数」とは、全部で何人の子どもが欲しいかをいう。
- 7 「子ども観」とは、子どもをもつことに関する考え方を質問したものである。
- 8 「第1回」「第5回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目である。
- 9 「4年間」とは、第1回調査から第5回調査までの間のことをいう。